

～全国と比べて依然として低い四国の下水道処理人口普及率～
－平成23年度末の四国地方の下水道整備状況について－

国土交通省四国地方整備局において、平成23年度末時点の四国地方における下水道整備状況を取りまとめましたので、結果をお知らせします。

なお、国土交通本省では、四国地方を含む全国の下水道整備状況の取りまとめについて同日付で公表しています。

下水道処理人口普及率

平成23年度末の四国地方の下水道処理人口普及率は、38.0%（平成22年度末37.0%）に上昇しました。処理区域内人口は約152万人となり、平成22年度末から平成23年度末の1年間に、約3万人が新たに下水道を利用できるようになりました。しかしながら、全国の下水道処理人口普及率75.8%^(注)と比較して、依然として低い状況にあります。

四国内の普及率を県別に見ると、徳島県の15.5%は45都道府県^(注)中最下位であり、同じく43位高知県(34.5%)、41位香川県(42.4%)、37位愛媛県(49.0%)と全ての県が全国の下位ランクに位置しています。

国土交通省四国地方整備局では、引き続き四国4県と計画的な下水道整備の促進に努めていきたいと考えています。

(注) 平成23年度末は、岩手県、福島県の2県において、東日本大震災の影響により調査不能な市町村があるため、公表対象外としています。

平成24年8月31日

国土交通省四国地方整備局

問い合わせ先

TEL (087) 851-8061

建政部 都市・住宅整備課 課長補佐 石原 弘之
(内線6162)
下水道係長 黒田 稔生
(内線6176)

平成23年度末 下水道処理人口普及率 各県別内訳

都道府県名	総人口 (住民基本台帳人口H24.3.31) (人)	処理区域内人口 (人)	平成23年度末普及率 (%)	平成22年度末普及率 (%)	普及率増加分
徳島県	786,640	122,223	15.5%	14.8%	0.7%
香川県	1,006,488	426,671	42.4%	41.3%	1.1%
愛媛県	1,441,291	706,091	49.0%	48.0%	1.0%
高知県	759,680	262,074	34.5%	33.3%	1.2%
四国計	3,994,099	1,517,059	38.0%	37.0%	1.0%

(注) 下水道処理人口普及率は小数点以下2桁を四捨五入している。

※整備指標の定義

$$\text{下水道処理人口普及率(\%)} = \frac{\text{処理区域内人口}}{\text{総人口}} \times 100 \quad (\%)$$

《参考 平成22年度末 下水道処理人口普及率 各県別内訳》

都道府県名	総人口 (住民基本台帳人口H23.3.31) (人)	処理区域内人口 (人)	平成22年度末普及率 (%)	平成21年度末普及率 (%)	普及率増加分
徳島県	791,242	117,269	14.8%	13.9%	0.9%
香川県	1,009,794	417,452	41.3%	40.5%	0.8%
愛媛県	1,450,262	696,359	48.0%	47.1%	0.9%
高知県	766,426	255,287	33.3%	31.7%	1.6%
四国計	4,017,724	1,486,367	37.0%	36.0%	1.0%

(注) 下水道処理人口普及率は小数点以下2桁を四捨五入している。

汚水処理人口普及率

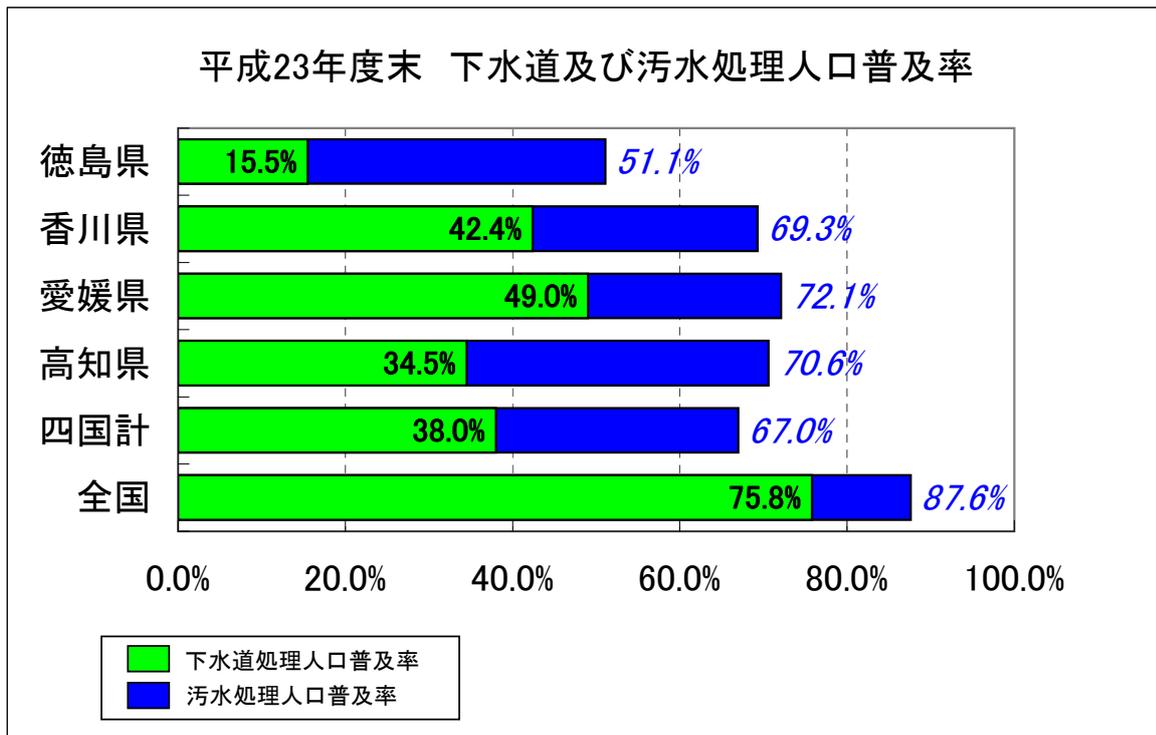
【汚水処理人口普及率】

下水道、農業集落排水施設等、合併処理浄化槽の処理人口を総人口(住民基本台帳人口)との比率で表した指標

県名	平成23年度末		平成22年度末	
	普及率	順位	普及率	順位
徳島県	51.1%	45位	49.4%	44位
香川県	69.3%	42位	68.1%	41位
愛媛県	72.1%	39位	70.3%	38位
高知県	70.6%	41位	68.6%	40位
四国計	67.0%		65.3%	
全国	87.6%		86.9%	

1. 平成22年度末は、岩手県、宮城県、福島県の3県において、東日本大震災の影響により調査不能な市町村があるため、公表対象外としています。

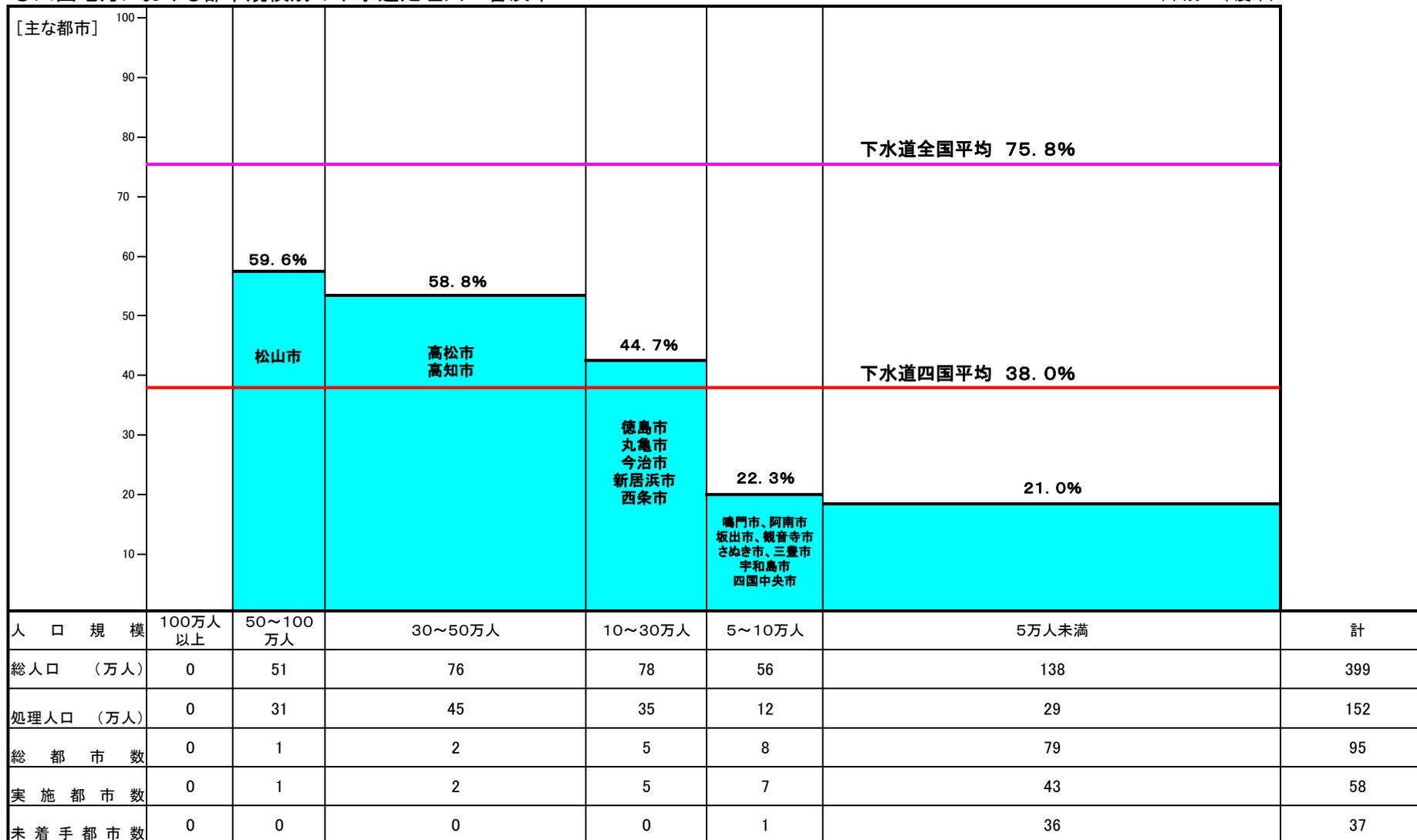
2. また、平成23年度末は、岩手県、福島県の2県において、東日本大震災の影響により調査不能な市町村があるため、公表対象外としています。



下水道の整備状況

○四国地方における都市規模別の下水道処理人口普及率

(平成23年度末)



注) 人口は、千人単位を四捨五入しているため、合計が合わないことがある。

注) 上表の「未着手都市数」は、平成23年度末において下水道処理人口が0の都市数を示す。